



吉村知事に「2021年度山形県 予算編成に向けた要請書」を提出

9月23日、連合山形は2021年度の山形県予算編成に向けた要請書を吉村知事に提出しました。小口会長から「雇用・労働」「行政改革」「産業・環境政策」「社会保障」「教育政策」の5つの部会でまとめた要請書を吉村知事に手交、その後、主要課題である「新型コロナウイルス感染拡大に伴う雇用に関する支援の創設・拡充」について、意見交換を行いました。

吉村県知事からは、4つの総合支庁と市町村が連携して相談対応を行っており、9月11日時点で148件の相談が寄せられていることや、全国に先駆けた県独自の中小企業資金繰り対策事業の創設、雇用のマッチングによるコロナ禍での人手不足対策など、「withコロナ」が続く中、市町村とも連携し財源の確保などについて国へ訴えていくという回答をいただきました。

【連合山形からの出席者】

小口会長、設楽会長代行
館内事務局長、柏木副事務局長

【山形県からの出席者】

吉村知事、木村産業労働部長
早坂中小企業振興課長、大瀧雇用対策主幹



連合山形第30周年記念式典

と き 11月11日(水) 10:30~11:30

場 所 大手門パルズ 3F 「霞城」

連合山形第33回年次大会

と き 11月11日(水) 13:00~17:00

場 所 大手門パルズ 3F 「霞城」

連合山形と連合本部の総対話活動（第2弾）を開催



相原事務局長（連合本部）



連合本部 小熊総務財政局長・山本副事務局長・山根企画長

9月9日の第10回執行委員会終了後に、「連合山形と連合本部の総対話活動」がZoomによるオンラインで開催されました。

冒頭に連合本部相原事務局長、連合山形小口会長からそれぞれ挨拶があり、対話のテーマ「連合ビジョンについて」「with/afterコロナの連合運動について」の解説が行われ、その後8人の出席者からそれぞれの分野における状況報告と意見交換が交わされました。

コロナ禍において、「新しい生活様式」と「新しい労働運動」を意識しながら、連合ビジョンに掲げられている「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」という運動軸をどう展開していくのかという大きな課題を中心に、「組織以外の方々に連合の力を如何に届けられるか」「差別的な意識に対する対応について」「オンライン・リモートでの組織拡大は可能なのか」など、「with/afterコロナ」における様々な課題に対し意見交換が行われました。

最後に連合山形館内事務局長から、「もとの社会に戻るのではなく『私たちが未来を変える』ことが重要である」というまとめが提起され、連合本部相原事務局長からは「私たちの次のジェネレーションの組合役員がノーマルになる。今が転換点、次の時代の入り口のドアの開け方が重要である」というメッセージを頂き閉会しました。



伊藤副会長（電力総連）



佐藤副会長（県教組）



小口会長



木口委員長（女性委員会）



船山副会長（自治労）



蒲原副会長（U A ゼンセン）



阿部委員長（青年委員会）



齋藤副会長（交通労連）

7月豪雨災害義援金の贈呈

7月28日～29日に発生した県内における豪雨災害に対し、連合山形は29日に「緊急災害対策本部」を設置し、早急な救援ボランティアに対応すべく体制を整え準備を進めました。しかし、被災した市町村ではコロナ禍という状況において住民に限定したボランティア応募を行ったことに加え、ニーズが少なかったこともあり、ボランティア派遣を行うことはできませんでした。

しかし、今回の山形県内の災害に対し、連合東北ブロック連絡会から連合山形に30万円の義援金が贈呈されたことを踏まえ、連合山形は、今回贈呈された30万円に、70万円を加算した100万円の義援金を、9月15日に知事室において小口会長から山形県（吉村県知事）に対し贈呈を行いました。

贈呈した義援金は吉村知事を通じて、山形県が12月28日まで実施している「令和2年7月豪雨に伴う義援金」まで届けられます。

また、連合山形構成組織被害調査を行った結果は以下のとおりとなっています。

【二次被害状況調査結果（最終）】 （15構成組織より報告）

- | | |
|------------|-----|
| ・人的被害 | なし |
| ・家屋床上浸水 | 15件 |
| ・家屋床下浸水 | 38件 |
| ・事業所（組合）被害 | 4件 |



小口会長から吉村知事へ義援金贈呈

新型コロナ等に関する吉村県知事と連合山形との意見交換会を実施

「エッセンシャルワーカーとしての誇りと理解を」

10月2日に、県庁5階会議室において、「新型コロナに関する吉村県知事と連合山形との意見交換会」が開催されました。コロナの影響による各産業の労働者の実情について、連合山形の6産別の代表者から、状況報告と意見・要望の説明があり、その後意見交換が行われました。

各産別からは、雇用調整助成金の期間延長や、いわれのない不当な偏見による差別や誹謗中傷・風評被害に対する対応など質問・要望が出され、小口会長からは、差別の問題は「あったかい県政」の根幹にかかわることであり、先が見えないコロナ禍において「あったかい県政」の継続が必要であるという意見が出されました。

木村産業労働部長からは、差別・偏見については、健康福祉部が中心で取り組みを進めており、県としても有識者を募って協議会を作り県全体で認識の共有をはかり対応していきたい。また、解雇雇止めについての応援金や離職者の再就職支援についても対応していくという回答がありました。



吉村知事



吉村知事

小口会長

最後に、コロナは先が見通せないが、リーマンショックで雇用創出した経験を生かして、知恵を絞って総力を挙げて対応したい。「オール山形」で取り組んでいきたいという吉村県知事からの力強いメッセージで閉会しました。

第17回

「ふれ愛チャリティーゴルフ大会」に92人が参加

今年で17回目になる「ふれ愛チャリティーゴルフ大会」が、9月19日（土）NEWブラッサムガーデンクラブで開催されました。

勤労者と労働福祉事業団体の会員との相互交流や親睦をはかることに加え、参加者よりチャリティ金を募り、ふれ愛募金会を通じて障がい者の方々の社会参加や福祉施設的环境整備などに役立てていただくことを目的として、毎年開催しています。



小口実行委員長による始球式

今年はコロナ禍においての開催であるため、「コロナ対策応援チャリティーゴルフ大会」を兼ねた開催とし、「山形県新型コロナ対策応援金」への募金活動を行いながら、開催式の簡素化や閉会式は行わずプレー終了後に解散とするなど、全般を通して感染防止対策を重視した運営となりました。

山形県労福協・連合山形・労働金庫の共催による、労働金庫の「ふれ愛募金事業」と連動したこの大会のチャリティ収益金930,546円は、「ふれ愛募金会」に、新型コロナ対策で集められた募金40,855円は「山形県新型コロナ対策応援金」にそれぞれ贈呈されます。

爽やかな秋晴れのもと、92人がナイスショットでスポーツの秋を堪能しました。

【成績】

①個人の部					②団体の部		
優勝	井上美紀子（北村山地区）	OUT 39	IN 33	NET 69.6	優勝	西村山地区 （堀浩司、鈴木賢司、真田雅孝、原田昌充）	NET計 293.4
準優勝	堀 浩司（西村山地区）	OUT 35	IN 38	NET 70.6	準優勝	最上地区 （矢口一男、沼澤稔、大場賢一、丹栄一）	NET計 298.4
第3位	川越 義貴（J R 総連）	OUT 41	IN 44	NET 71.8	第3位	米沢地区 （高橋光一、新藤崇浩、梅津真二、鈴木弘樹）	NET計 299.6
ベストスコア	井上美紀子（北村山地区）	OUT 39	IN 33	GROSS 72			

退職者連合が山形県に対し要請行動を行いました

9月10日、山形市あこや会館において山形県退職者連合と山形県との懇談会が開かれ、先に山形県退連から提出された要請書に対する回答と意見交換が行われました。

要請書の内容は、6項目14事項で構成されており、各担当所管課長から現状報告や回答をいただきました。今年はコロナ禍での開催であるため参加者を制限しての要請行動となりましたが、活発な意見交換が行われました。

【2020山形県退職者連合 山形県への要請内容】

1. 高齢者のコロナウイルス対策について
2. 今後の感染症対策について
3. 高齢者が住みやすい環境作りについて
4. 少子化対策・子育て環境づくりについて
5. 高齢者問題について
6. 山形県沖を震源とする地震、被災地の復興について



県退連県要請



三澤会長



鈴木事務局長



「気づこう、アンコンシャス・バイアス ～真の多様性ある職場を～」の展開

連合は、性別・年齢・国籍・障がいの有無・就業形態などにかかわらず、誰もが多様性を認め合い、お互いに支え合うことのできる職場、社会の実現をめざします。「アンコンシャス・バイアス診断」という手法（アンケート）を切り口に、無意識の思い込みや偏見があるのかさぐりながら、「真の多様性」について、まずは自分自身が“気づく”取り組みを展開します。

アンコンシャス・バイアスを知っていますか？

アンコンシャス・バイアスは、「無意識の思い込み、偏見」と訳され、誰かと話すときや接するときに、これまでに経験したことや、見聞きしたことに照らし合わせて、「この人は〇〇だからこうだろう」「ふつう〇〇だからこうだろう」というように、あらゆるものを「自分なりに解釈する」という脳の機能によって引き起こされるものです。

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあるものです

アンコンシャス・バイアスは日常にあふれていて、誰にでもあり、悪いわけではありません。問題なのは、気づかないうちに、「決めつけ」たり、「押しつけ」たりしてしまうことなのです。

私たちは同じモノをみても、一人ひとり「解釈」は異なります。

無意識のうちに（知らず知らずのうちに）、相手を傷つけたり、相手を苦しめたりしていることがあります。そういった事に対処するためにも、誰もが知っておいたほうがよいと思われる概念として、近年注目をあびるようになりました。

アンコンシャス・バイアスがある、ということ意識し行動することでよりよい職場や社会の実現に近づきます。アンケートへのご協力をお願いします。

職場にあふれている「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み・偏見）」に気づくこと、それが連合のめざす、真の多様性ある職場への第一歩だと考えます。

1. 実施時期 9月10日(木)～10月30日(金)
2. 対象者 組合員および社会一般に向けGoogleアンケートを実施
回答フォームURL：<https://www.jtuc-rengo.or.jp/action/diversity/>
3. 結果公表 回答結果を集約・分析し連合プレスリリースにて発信。連合HP、SNS等にて公表します。
4. その他 連合本部から構成組織を通じて加盟組合（単組）役職員および組合員への要請を行っています。

気づこう、アンコンシャス・バイアス 真の多様性ある職場を

▶「診断」にチャレンジ!!

「親が単身赴任中」と聞くと、父親を想像する(母親を想像しない)

あなたの中の“無意識の思い込みや偏見”をさぐってみませんか？



10月30日まで



平和運動の取り組み

今年の平和運動は、新型コロナウイルスの影響を受け「沖縄集会」を中止し、「広島」「長崎」「根室」についても開催形態を見直しての開催となり、地方連合会からの参加は行われませんでした。

しかし、例年「平和行動in広島」において、戦没者への慰霊の意を込めて、参加者による「折鶴の献納」と「献水」を行ってきたことを踏まえ、連合山形は各地域協議会から折鶴の協力を得ながら連合広島を通じて「折鶴の献納」と「献水」を行いました。

また、8月3日～7日の期間、大手門パルズ1階エントランスにおいて「原爆パネル展」を開催しました。毎年同時期に戦争・被爆体験を風化させない平和運動の一環として、広島・長崎への原爆投下直後の写真など20枚程度を展示しました。

来館された多くの方々が足を止め、当時の悲惨な状況を閲覧しながら現在の平和の尊さに想いを馳せていました。



献水と折鶴



2020原爆パネル展



慰霊式の様子



献水



折鶴の献納



連合広島から
折鶴の献納と
献水をして
いただきました。

ワークルール検定 2020秋

初級検定

締切
迫る!!

「ブラック企業」の社会問題化などに象徴されるように、企業・使用者側、労働者側双方のワークルールに関する知識の欠如に起因する労働問題が顕在化しています。労働をめぐる問題を是正・解決していくためには、労使双方の「ワークルール」に関する知識・認識を高めていく必要があります。ワークルールの社会的な普及をはかり、「働きやすい職場」の実現をめざすため、連合は2013年よりワークルール検定を開始し、春と秋の2回実施しています。

2020年春の初級検定は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりましたが、秋の検定から、全都道府県で開催することになっており、山形県では下記のとおり実施します。

連合山形は、本検定に積極的に対応するため、各構成組織に対し受検者の応募を要請しています。

1. 日 時 11月23日（月・祝日）（受付10：15～）
11：00～11：45（45分検定）
2. 会 場 大手門パルズ（山形市木の実町12-37）
3. 主 催 （一社）日本ワークルール検定協会
4. 申込方法 「連合山形組織内申込み用紙」と受検料の送金票を連合山形にFAXにて申し込む。
ただし、受付期間内で定員に達した場合、募集を締め切る。
5. 受 検 料 2,900円（税込、検定・講習費）
6. 申込締切 10月22日（木）
7. テキスト ① 「ワークルール検定初級テキスト」（1,540円税込）は、希望する受検者に連合山形負担で購入し贈呈する。
② 問題集（1,760円税込）は書店等で販売。10冊以上まとめて購入の場合は、割引価格での購入が可能なので、連合山形に申し込む。
8. 講 習 ① 検定に先立ち60分間の労働法の基礎的仕組みを解説する「ワークルール講習」をWEBにて開催します。本検定の受検にあたっては、この講習を事前に受講してください。
② WEBでの受講方法等詳細は公式ウェブサイトをご確認ください。
<http://workrule-kentei.jp>

女性委員会 「第32回総会」の開催について

と き 10月29日（木） 14：00～15：00
※総会終了後、学習会を開催
15：00～16：00

場 所 大手門パルズ 3F「柊・橘」

青年委員会 「第31回総会」の開催について

と き 10月24日（土） 13：30～14：30
※総会終了後、学習会を開催
14：30～16：00

場 所 大手門パルズ 3F「柊・橘」

ろうきんなら、お借入れも スマホでラクラク♪

24時間365日お申込みOK!

ローンWeb事前審査

教育ローン マイカーローン
住宅ローン フリーローン

※本サービスは事前審査です。ローンをご利用いただくためには別途ご来店いただき、正式なお申込み手続きが必要です。

※事前審査お申込み時と正式書類ご記入時のご記入内容が相違する場合、ご融資できない場合もあります。あらかじめご了承ください。

詳しくは
こちらから



ネットでお手続きが完結!

ろうきんカードローン
マイプラン (Web完結型)

- ① Webでお申込み
- ② メールにて審査結果のご連絡
- ③ 契約内容の同意確認等、最終お手続き
- ④ 簡易書留にてローンカード郵送

※ご利用には「東北ろうきん」の普通預金口座が必要となります。口座をお持ちでない方は、別途来店または「ろうきん口座開設アプリ」による口座開設のお手続きが必要となります。

※Webでお申込みいただいた後、ご入力いただいた電話番号にご連絡させていただき、本人及び勤務先確認・契約意思の確認を行います。

詳しくは
こちらから



※メンテナンス等によりご利用いただけない場合があります。※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<https://www.tohoku-rokin.or.jp>

東北ろうきん

検索

2020年10月1日現在



東北労働金庫 山形県本部

0120-1919-62
(受付時間：平日 午前9時～午後5時)

2020年4月
制度改定

マイカー共済

自動車総合補償共済

こくみん共済 NEWS

7220A024



今のあなたに必要な
自動車補償を
点検してみましょう!

新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として、公共交通機関を避け、自家用車を利用したり、家計の見直しや節約をする人が増えています。

WEBで
お見積もり

「じっくり見積もり」ページへアクセスし、必要事項をご入力
のうえ、「申込手続き」ページに
お進みください。

PCからはこちら➡

マイカー共済

検索

携帯電話・
スマートフォン
はこちら➡



マイカー共済なら基本補償
は20等級でこの掛金!

(人身傷害補償：最高 5,000 万円、対人対物賠償：無制限)

〈コンパクトカー〉

ニッサンノート の場合



月払掛金 **1,500** 円 [年払掛金] 17,150 円

【算出条件】

- 型式：NE12、型式発売年月：H24年9月
- 初年度登録年月：R1年10月
- 型式別掛金クラス：対人7、対物6、人傷3
- 運転者年齢条件：35歳以上補償
- 主たる被共済者年齢区分：40歳以上50歳未満
- ※その他条件は下記のとおり
- 適用割引：ハイブリッド車割引／新車割引／運転者本人・配偶者限定特約

※上記は2020年9月時点において、2020年10月1日を効力開始日として試算しているため、試算日によっては型式別掛金クラスの変動などにより、実際の掛金と異なる場合があります。※上記に記載しているのは、車両損害補償を付帯していない掛金の一例です。

共済ショップで

共済ショップ

検索

山形県内の共済ショップは6店舗。ご来店はもちろん、お電話でもお見積もりができます。

こくみん共済〈全労済〉山形推進本部 TEL 023-646-4666(代)

全国労働者共済生活協同組合連合会

coop

(山形県労働者共済生活協同組合) 〒990-0827 山形市城南町1-18-22

広告番号

065103

たすけあから生まれた
保障の生協です。

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。